

事案書（☒経営会議 ☐調整会議）

開催日：平成29年1月24日（火）

担当課：文化スポーツ部 スポーツ課

件 名：横浜F・マリノスとのホームタウンの承諾について	
提出理由：Jクラブ横浜F・マリノスとのホームタウンの承諾を行うにあたり、その内容について了承を得るため	
内 容： 1. 背景 - 本市では地域スポーツの振興を図るため、女子サッカーを施策の中心に置き、トップチームをホームタウンチームとして支援することで、地域スポーツの推進を図るとともに、全国に大和市のブランドイメージを発信する取り組みを進めてきた。 - 今回、Jリーグ発足当初からJクラブとして存在する「横浜F・マリノス」から、本市をホームタウンとして迎え入れて、より広範な地域で活動を展開したいとの打診があった。 - 横浜F・マリノスは、従前から市内に少年を中心としたサッカー指導の拠点を置き、市内小学校へのサッカーキャラバンや地元商店街と連携した取り組みを行うなど、神奈川県内のJクラブとして、本市において広範な活動を行っている。 2. ホームタウンを承諾することについて - Jリーグではホームタウンを「Jクラブと地域社会が一体となって実現する、スポーツが生活に溶け込み、人々が心身の健康と生活の楽しさを享受することができるまち」と定義している。 - 本市における横浜F・マリノスのこれまでの活動実績に鑑み、本市の健康施策に関するクラブの協力や、本市が目指す「女子サッカーのまち」を強力に推し進めることに繋がると期待できるものであることから、横浜F・マリノスのホームタウンとなることを承諾するものとする。	3. ホームタウンになる効果 (1) スポーツの普及、振興 - 少年やシニア、障がい者などを対象としたサッカー教室のほか、ランニングやノルディックウォーキング等講習会を開催 - 横浜F・マリノスの試合に市民招待試合等を実施 (2) 健康に関わる取り組み 「食育キャラバン」等の食育プロジェクト 「ウォーキングイベント」等を開催 (3) 青少年の健全育成 - 指導者育成向けの講習会や指導者の派遣 - 本市少年の試合を日産スタジアムにて開催 - キャリア教育支援「職業講話」の実施 (4) 大和市のシティセールス - 日産スタジアムでの試合で「(仮称) 大和市マッチデー」と題し、PRブースを出展し、特産品の販売、展示などを実施 4. ホームタウンとしての支援 - 市は横浜F・マリノスの要請により、ゲームの開催日程、チームが開催する行事等の周知について協力する。 - 市は横浜F・マリノスに対し、金銭的、財政的な支援は行わず、横浜F・マリノスもそうした支援を要請しない。 5. 近隣自治体のホームタウン 【J1】・川崎フロンターレ（川崎市） 【J2】・湘南ベルマーレ（平塚市、藤沢市他10市町） - 横浜FC（横浜市） - FC町田ゼルビア（町田市） 【J3】・SC相模原（相模原市） Y. S. C. C. 横浜（横浜市）
経 過 H5.5 Jリーグ開幕（横浜F・マリノスJ1所属） H18 横浜F・マリノス大和校開校（高座渋谷ジャスコ（現イオン屋上）にてサッカースクール開始） H21 同教室を鶴間に移転 H21 市内小学校巡回指導（サッカーキャラバン）開始 H28 横浜F・マリノスからホームタウンの打診 大和市サッカー協会から推薦状が提出	今後の予定 H29.2 横浜F・マリノスから依頼書の送付 H29.2 横浜F・マリノスへ承諾書の提出・覚書締結 H29.3 Jリーグ理事会へ承認申請、回答 H29.4 以降 ホームゲームにおけるお披露目